

令和元年度第2回たかまつ移住応援隊ミーティングの結果について

令和元年度第2回たかまつ移住応援隊ミーティングの開催結果は、次のとおりでした。

- 日時： 令和2年2月18日（火）午後6時30分～8時30分
会場： 市民交流プラザIKODE瓦町 多目的スタジオ
（高松市常磐町1-3-1 瓦町FLAG8階）
参加者： 移住リーダー1人、移住サポーター18人・団体
テーマ： 「今後の移住促進施策及び移住応援隊の活動について」



<ミーティングの場に出された主な意見等>

○移住パンフレットの改訂について

- ・掲載する写真は、自然な感じの親近感が持てるものがよい。
- ・移住応援隊の紹介。各サポーターの写真や得意分野を掲載してはどうか。
- ・中学生や高校生のアイデアを募ってもいいのでは。
- ・地元の人では気付かない、当たり前風景を盛り込むとよい。
- ・屋島の紹介など、他ではないものをPRしてみてもどうか。
- ・日本人だけでなく、外国人の受入れについても重要であるため、英語での表現も入れてはどうか。
- ・移住を考えている人の背中を押す上では、先輩移住者の声は絶対必要となる。
- ・子育て、教育（学区など）、医療、福祉、仕事（産業や企業の紹介等）に関する内容も盛り込めるとよい。
- ・相談窓口などの情報もあればよい。
- ・子どもの習い事や、スーパーなどの情報も必要なのでは。
- ・既に移住してきた人ではなく、これから移住してくる人の視点を重視した内容で、作成することが重要ではないか。
- ・移住者が利用できる支援制度の一覧があるとよい。
- ・各情報に、詳細な問い合わせ先や、ホームページに誘導できる仕組みがほしい。

○移住者交流会の内容について

- ・移住者だけでなく、地域の人にも門戸を開くことで、より交流を深めることができるのでは。
- ・地引き網体験の実施。参加者同士が溶け込みやすく、高松の田舎な感じも見せることができるのでは。

- ・自然環境豊かな点を生かして、交流会を塩江や牟礼庵治など、アウトドアの会場で展開してはどうか。

- ・1、2月あたりに牟礼で開催してはどうか。

○イベントについて

- ・スポーツを通して汗をかいて地元の人と交流する、スポーツ交流会の開催。

- ・海上タクシー等をチャーターしての島巡り。

- ・高松での生活を体験できるようなイベントの実施。（例：今年度実施した、あん餅雑煮を食べながらの交流会。）

- ・移住体験ツアーの空き家見学について、空き家をただ見るだけでなく、リフォーム業者なども同行し、具体的な改修費なども聞けるようなものにしてほしいのでは。

○その他

- ・応援隊の歌を作ってもいいのでは。

- ・移住とか定住に関わる関係人口を増やしていけばいいのでは。

- ・高松市をブロックに分けて、A地区にはこの人がいるよ、B地区にはこんな人がいますよといったことをPRしてはどうか。

- ・お試し居住について、別荘みたいな感じのところで、地域の人と連携し、短期間住むような感じで実施できればいいのでは。